

### 企画 観光 箱根町の観光行政について

**Q** 次の2点について  
伺う。

1. 観光客の旅行形態の変化について、新たな観光施策をどのように考えるか。
2. 観光客の防災体制について

**A** 1点目について、

当町としては来年度は国際観光プロモーション実施事業の新規事業として横浜市、東京都台東区との広域連携によって、中国の北京・上海・広州において新聞・雑誌掲載、テレビ等の広告宣伝を実施するほか、メディア、中国旅行エージェンツ等を招へいし、誘客に力を入れていきたいと考える。また、継続的に実施している海外セールスプロモーションとしては官民が一体となり、東アジアを中心に外向き、箱根の魅力を発信するとともに魅力的な旅行商品の造成等を推進させたい。国内観光客への施策として首都圏が重要な市場であることから、財団法人箱根町観光協会、箱根温泉旅館協同組

合とともに首都圏を中心に引き続き観光展を実施するほか、高速道路料金の変化も考慮し、広域を見据えた関西・中部方面でも観光展を実施し誘客を図っていきたいと考えている。

2点目について、町に訪れている観光客等の避難体制

としては各地域の電柱10箇所に避難所への誘導案内を英語表記を交えた表示を行い、更に観光案内板やパンフレットに避難所を明記するなど観光客にも分かりやすい表示を心がけている。また、避難所における外国人対応としては英語・中国語・韓国語などの外国語による避難所内での生活に必要な用語等を表示したシートを用意しているが、どうしても通訳が必要となるので在住・在勤者で外国語が話せる方に特殊ボランティアとして登録をしていただいたり、広域応援協定をしている市町、NPO法人等のボランティア団体に協力して頂けるよう調整していきたい。

### 総務 元箱根集会所について

**Q** 次の5点について  
伺う。

1. 17倍の必要性について
2. エレベーターの必要性と保守点検について
3. エレベーターでなく、スロープの設置について
4. 診療所の併設について
5. 駐車場について

**A** 1点目の集会所建

設にあたっては地域の要望を取り入れて設計した。地域集会所は、災害時などの住民避難場所となり、長期滞在や防災の拠点となることを考慮し、地域住民約600名を収容できる広さ<sup>483.83</sup>㎡となった。

2点目のエレベーターの設

置については、選挙の投票所やイベント開催時の障害者の方の利用もあることから、地域の財源を充てても設置したいとの強い要望があったものである。公共施設のエレベーターには点検が義務づけられており、専門業者に年間を通して保守点検を予定している。

3点目のエレベーターの代

わりに施設内スロープの設置について、スロープは階段と異なり、県の条例等で勾配が定められており、スロープ専用のスペースが必要である。現在の設計以上に建築面積、金額等が増加するものと考えられる。

4点目の診療所の併設につ

いて、平成4年度から、公民館、観光協会、消防、警察を含めたコミュニティ構想があり、出張所、診療所の設置場所以についても論議があったが、診療所を施設内に入れる話は無く、同構想については結果を見ることができず、地元施設整備促進委員会も解散となった。

5点目の駐車場については、

建設後は身障者用1台を含めて12台設置し、現状と変わらぬ利用方法となるものである。



### 総務 防災マップ改訂について

**Q** 地域開発等に伴う  
防災マップの改訂に  
ついて

**A** 防災マップについ

ては、平成2年に作成、同6年に改訂し、県作成の「アポイドマップ」を基に、1万分の1で作成したものである。

法律の改正等により、今

後「土砂災害ハザードマップ(土石流)」と「洪水ハザードマップ」の2種類を作成し、該当地区等の住民、自治会へ配布を計画している。切迫している東海地震等に対して防災マップの改訂を急ぐ必要性について、当町は山岳地形であることから、ほとんどが危険箇所となるため、地震が起きた時に危険な場所や地区などを示すことは大変難しい。

しかし、一般的には急傾斜地などが危険だといわれており、県では土砂災害防止法に基づく急傾斜地などの土砂災害危険個所の指定に向けて進めており、当町は平成27年度指定が予定さ

れている。この指定により、危険箇所が示され、指定後は、ハザードマップを作成しなければならず、これを新しい地震防災マップとして作成したいと考えている。

この地震防災マップは、

地震災害に対する準備や対策などをよりわかりやすい内容を掲載していくものである。

防災マップに示されない危険箇所については、地元の方が十分把握されていると思われるので、自治会や自主防災組織を通して、危険箇所マップ等を作成し、災害の場合に役立てていくと考えている。

